

我が家の家計簿

ズバツと!

診断

マイホーム購入検討中

諸費用支払いで貯蓄が増えない。
節約する方法は?



約5年前に新築住宅を購入しました。当時、住宅メーカーや銀行の方から「金利も低い時代だし、今が建て時ですよ」と言われ、少し予算オーバーな気がしましたが、そんなに金利が低いならということで思い切って銀行で2800万円の住宅ローン(35年全期間固定金利2.90%)を組みました。ただ、毎月の返済に加え団体信用生命保険料や固定資産税など別途かかる費用も大きく、思っていたほどあまり貯蓄ができません。今後、子供にかかる費用が増える中でなんとか節約したいのですが、何からはじめたらよいのかと迷っています。銀行の方からローンの借り換えの案内もよくありますが、本当にメリットがあるのか不安です。何か良いアドバイスをお願いします。

Q 住宅ローンの借り換えについて

確かにご購入当時は低金利の時代と言われていましたね。しかし、その後金利水準は下がり続け、現在では約1.6%〜2.0%前後となっています。住宅ローンの借り換えにより、メリットが出る目安としては「10年」：住宅ローンの残りの期間が10年以上ある 「1000万円」：住宅ローンの残りの金額が1000万円以上ある 「1%」：現在の住宅ローンの金利差が1%以上ある と言われています。この3条件に当てはまる場合は「借り換えのメリットがある」総支払い利息が減ることになります。確かに金利だけみれば購入当初から下がっていますが、借り換え時の

A 借り換え手続きの諸経費をお忘れなく!

月間収入		年間収入	
夫(手取り)	330,000円	夫(賞与)	1,000,000円
妻(手取り)	130,000円	計	1,000,000円
計	460,000円		
月間支出		年間支出	
住宅ローン	81,600円	住宅ローン(ボーナス返済)	300,000円
食費	40,000円	冠婚葬祭費	30,000円
外食費	15,000円	自動車税(1台分)	43,400円
光熱費(電気/ガス/水道)	19,000円	車検代(1年平均)	70,000円
電話代(携帯/固定)	20,000円	自動車保険料(2台分)	36,000円
通信費(インターネット)	8,000円	火災保険	10,100円
ガソリン代	18,000円	贈答費用(お歳暮/お中元)	12,000円
日用品代	10,000円	貯蓄	100,000円
衣料費	15,000円	計	601,500円
医療費	5,000円		
お小遣い(夫)	30,000円		
お小遣い(妻)	20,000円		
学資保険	19,000円		
生命保険(夫)	16,200円		
生命保険(妻)	9,200円		
子供学費	10,000円		
子供習い事	23,000円		
自動車ローン	18,000円		
計	377,000円		
現在の貯蓄			
預貯金残高	4,100,000円		
計	4,100,000円		

注意点としては、返済金額そのものの他に別途諸経費もかかりますので、それらを含めたうえで検討することが重要です。主な費用として、次のものがあります。 ・保証手数料 借入れ金額の0.30%(銀行による) ・事務手数料 3〜5万円程度 ・抵当権設定費用 数万円程度 ・印紙税 2万円程度 ・繰上げ返済手数料 0〜数万円程度 ・抵当権抹消費用 1〜2万円程度

Nさんの場合、月払い生命保険料(44400円)を年払いに変更するだけで約2%ほど節約できます。つまり、44400円×2%＝888円/月。これは1年間で10656円の節約になります。この低金利の時代に銀行(預金金利0.02%の普通預金)で年10000円を利殖しようとした場合、5000万円を預ける必要があります。ちょっとしたこと、毎月の家計費を大きく切りつめることなく年間1万円以上の節約ができるのです。



ファイナンシャルプランナー 香野 智之 kouno tomyouki

プロフィール
1971年3月14日生まれ
外資系保険会社に9年間勤務後、お客様のご要望に幅広く応えたいと、現在は総合保険代理店に勤務。家計の見直し・お子様の教育資金づくり、資産運用から相続まで、豊富な金融知識と経験を生かした的確なアドバイスが強み。幅広い世代で信頼を得ているファイナンシャルプランナー。

総合保険代理店
(株)インシュアランスバンク
TEL:093-382-0081
メールアドレス: info@i-bank.jp